

第14回ふくおかエコ農産物認証委員会 議事録

- 1 日時 令和3年3月12日（金）10:00～11:10
- 2 場所 福岡県庁行政棟 特9会議室
- 3 出席者
認証委員7名（高木委員長、三苫副委員長、甲斐委員、野間口委員、益永委員、草場委員、森委員）
認証委員会事務局3名（県庁農林水産部食の安全・地産地消課）
ふくおかエコ農産物販売拡大協議会1名（事務局）

4 内容

○ 議題

(1) 令和2年度1月申請の認証について

①認証申請状況及び技術審査会報告

- ・新規申請35件、更新申請138件及び年度計画提出295件。
- ・委員からは以下の質問・意見が出されたが、新規申請、更新申請いずれも認証可であると判断された。
 - ・今年、水稻のトビイロウンカが多発したが、県の慣行基準見直し等は考えられるか。
→県の慣行基準は、基準値策定時の病害虫発生状況に応じた地域慣行になっており、要望があれば見直しを行っている。今回、1普及指導センターから、うるち米（普通期）の慣行基準見直し（農薬成分回数）があったが、当該センターのみの要望提出、新規ウンカ剤の普及を考慮し、農薬成分回数増は見送ることになった。
 - ・数か月にわたり栽培する作物において、初期の種子消毒についてどこまで影響があるかわからない。期間全体の農薬成分回数よりも、生育後期～収穫にかけての農薬を考慮した方が良いのではないか。
→うるち米（普通期）の場合、種子消毒から3か月近く経過していることから、種子消毒剤が残留している可能性は低いと思われる。ただし、「特別栽培農作物に係る表示ガイドラインについて」では、栽培期間中の農薬成分回数を記載する必要があることから、生育後期～収穫時の成分回数の表示ができるという話にはならない（九州農政局経営事業支援部食品企業課確認済み）。

○ 報告事項

- (1) 環境保全型農業直接支払交付金取組報告書について
- (2) ふくおかエコ農産物販売拡大協議会の活動について

- ・以上、議題終了後、閉会。